学校番号	T4001

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	２単位	年次	１～４
使用教科書	「最新政治経済」　（実教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

自由で平和な現代社会をどのようにして作り、守っていくかを考えることが大きな目標です。
教科書以外に日々のニュースにも関心をもち､様々な情報の中から自分で何が正しいのかを判断する力を身につけてください。
今起きている事象には必ず理由があります｡｢なぜ？どうして？｣という疑問を常に持ちながら日々のニュースや出来事に関心を持っていて下さい。
そしてその出来事に関して、自分の意見を持てるようにしましょう。
公共で取り扱った内容をさらに発展させて学びます｡予習復習をしてしっかりと授業内容についていくようにしましょう。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】

- 社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに，諸資料から，社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けさせる。

【思考力、判断力、表現力等】

- 国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して，現実社会に見られる複雑な課題を把握し，説明するとともに，身に付けた判断基準を根拠に構想する力や，構想したことの妥当性や効果，実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して，合意形成や社会参画に向かう力を養わせる。

【学びに向かう力、人間性等】

- よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に，より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深めさせる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	選択・判断の手掛かりとなる概念や理論，及び倫理，政治，経済などに関わる現代の諸課題について理解しているとともに，諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現代の諸課題について，事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，解決に向けて公正に判断したり，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。	国家及び社会の形成者とて，よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
4月	現代日本の政治	民主政治と法	a：政治と国家，政府が何であるかを理解している。 ・法の意義と役割のほか，法の分類についても理解している b：政治とはどのような営みか，自身の身近な事例にも言及しながら考察し，適切に表現している。 c：国民主権を担う公民としての自覚をもとに，民主政治のあり方や法の意義などについて主体的に理解・追究しようとしている。	・小テスト ・中間考査	・授業プリント	・授業中の態度 ・振り返りシート
		民主政治の基本原理	a：・社会契約の考え方について理解している。また，ホッブズ，ロック，ルソーの考え方の共通点・相違点を p.10 の表から読み取り，理解している。・基本的人権の歴史的発展について理解している。 b：・基本的人権や法の支配の重要性について，歴史的背景にも言及しながら考察し，それらを適切に表現している。 c：国民主権を担う公民としての自覚をもとに，基本的人権や法の支配の重要性などについて主体的に理解・追究しようとしている。	・小テスト ・中間考査	・授業プリント	・授業中の態度 ・振り返りシート
		民主政治のしくみと課題	a：議院内閣制・大統領制をはじめとする各国の政治制度の特徴について，民主政治の諸原理にも着目しながら理解している。 b：各国の政治制度の共通点・相違点について，立法府と行政府に着目しながら比較・考察し，適切に表現している(p.15／Try)。 c：国民主権を担う公民としての自覚をもとに，現実の政治制度に関する課題について主体的に理解・追究しようとしている。	・小テスト ・中間考査	・授業プリント	・授業中の態度 ・振り返りシート

		世界のおもな政治制度	a：**議院内閣制・大統領制をはじめとする各国の政治制度の特徴について，民主政治の諸原理にも着目しながら理解している。** b：**各国の政治制度の共通点・相違点について，立法府と行政府に着目しながら比較・考察し，適切に表現している**(p.15／Try)。 c：**国民主権を担う公民としての自覚をもとに，現実の政治制度に関する課題について主体的に理解・追究しようとしている。**	・小テスト ・中間考査	・授業プリント	・授業中の態度 ・振り返りシート
	日本国憲法と基本的人権	日本国憲法の成立 日本国憲法　基本原理	a：**日本国憲法の成立過程を理解している。** **・二つの憲法の原理と相違点について，**p.18 やp.20 の Check **を通じて理解している。** b：**日本の憲法改正手続きについて，**p.21 の Q&A **も踏まえながら，その運用上の課題について協働的に考察し，適切に表現している**(p.21／Try) c：**憲法の最高法規性や日本国憲法の原理，改正手続きなどについて主体的に理解・追究しようとしている。**	・小テスト ・中間考査	・授業プリント	・授業中の態度 ・振り返りシート
		第 1 編 2 章 3 自由に生きる権利(1) 第 1 編 2 章 4 自由に生きる権利(2) 第 1 編 2 章 5 平等に生きる権利 第 1 編 2 章 6 社会権と参政権・請求権	a：**自由権・平等権・社会権などの諸権利の内容について，各種判例や** Q&A(p.22，p.25，p.26，p.27，p.28)**も踏まえながら理解している。** b：**自由権，平等権，社会権について，各種判例や自身の身近な事例などと結びつけながら協働的に考察し，適切に表現している。** c：**・基本的人権が保障されていることの意義を知り，関心が高まっている。また，たとえば平等権と社会的な差別の諸課題について多面的かつ主体的に考察し，よりよい社会の実現を視野に，学習したことを社会の改善に生かそうとしている。**	・小テスト ・中間考査	・授業プリント	・授業中の態度 ・振り返りシート
		新しい人権 人権の広がりと公共の福祉	a:権利・プライバシーの権利などの新しい人権の内容とそれらの権利が主張されるようになった背景について理解している。 b 権利の内容理解を踏まえたうえで，「忘れられる権利の是非」について多面的に考察し，適切に表現している。 C：新しい人権について主体的に追究して，学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	・小テスト ・中間考査	・授業プリント	・授業中の態度 ・振り返りシート

		第 1 編 2 章 9 **平和主義と自衛隊** **第 1 編 2 章 10** **日米安全保障体制の変化** **第 1 編 2 章 11** **21 世紀の平和主義**	a:日本国憲法の平和主義の内容と日米安保体制がうまれた背景について理解している。 B 防衛関係費と社会情勢との関係について，p.34 の Check を利用して，多面的に考察している。 C:集団的自衛権について関心が高まっており，集団的自衛権が他国との関係でどのような影響を及ぼしうるかについて主体的に検討しようとしている。	・小テスト ・中間考査	・授業プリント	・授業中の態度 ・振り返りシート
5 月	日本の政治制度と政治参加	第 1 編 3 章 1 政治機構と国会 第 1 編 3 章 2 内閣と行政機能の拡大	a: 国会の役割や権限について理解する。 b: p.40-41 の本文理解を踏まえたうえで，「国会はなぜ国権の最高機関とされるのか」といった議題について考え，適切に表現している。 c: 日本の政治機構について主体的に追究して，学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	・小テスト ・中間考査	・授業プリント	・授業中の態度 ・振り返りシート
		第 1 編 3 章 3 公正な裁判の保障	a: 司法権の独立や裁判のしくみ，各裁判所の役割について理解している。 b: 裁判員制度の意義と課題について協働的に考察し，適切に表現している（p.45／Try） c: 司法制度のあり方や司法参加の意義について主体的に追究して，学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	・小テスト ・中間考査	・授業プリント	・授業中の態度 ・振り返りシート
		第 1 編 3 章 4 地方自治と住民福祉	a: 地方自治の本旨である，団体自治と住民自治について理解している。 b: p.47 の Check を通じて地方財政の課題を考察し，適切に表現している c: 地方がかかえる課題の概要を理解したうえで，身近な地域の人口動向や防災面での課題，東京圏への一極集中といった主題に興味関心をもち，人口動向が地域に与える影響や一極集中にともなう課題の解決策などを積極的に追究しながら，「持続可能な地域社会のあり方（p.110）」や「地域における防災（p.111）」を探究するための意欲を高めている。	・小テスト ・中間考査	・授業プリント	・授業中の態度 ・振り返りシート
		第 1 編 3 章 5 政党政治 第 1 編 3 章 6 選挙制度	a: 政党政治や日本の政党政治の課題について理解している。 b: 日本の政党政治の課題について，「政治資金」や「政党間の競争」といった観点に立ちながら考え，適切に表現している	・小テスト ・中間考査	・授業プリント	・授業中の態度 ・振り返りシート

			c:。政党の変遷について主体的に追究して，なぜ離合集散が繰り返されるのかといった観点から政党政治の課題を意欲的に解決しようとしている。			
		第1編3章7 世論と政治参加	a：マス・メディアや市民運動が世論形成と政治にもたらす影響について理解している。 b：SNS やインターネットの普及が世論形成に与えるメリットとデメリットについて多面的に考察し，適切に表現している。 c：政治と民意の関係について主体的に追究し，民意を政治に反映させるための課題を意欲的に解決しようとしている。	・小テスト ・中間考査	・授業プリント	・授業中の態度 ・振り返りシート
	現在の経済社会	第2編1章1 経済活動の意義 第2編1章2 経済社会の変容	a：生産・分配・消費，希少性，トレードオフ，機会費用など，経済の根本的な概念について理解している。 b：資源の効率的な配分について，効率性と公平性の観点から多面的に考察している c：よりよい社会の実現を視野に,経済的な効率性と公平性の関係について学習したことを社会生活に生かそうとしている。	・小テスト ・中間考査	・授業プリント	・授業中の態度 ・振り返りシート
		第2編1章3 経済主体と市場の働き	a：需要と供給により価格と生産量が変化することを理解している。 b：市場経済における生産要素の効率的な配分や，政府の適切な施策について多面的・多角的に考察・構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 c：市場メカニズムの働きや市場の限界について主体的に追究して，学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	・小テスト ・中間考査	・授業プリント	・授業中の態度 ・振り返りシート
		第2編1章4 企業の役割	a 有限責任と無限責任の考え方について理解している。 b：企業が従業員をはじめ，消費者や地域社会などに対してどのような責任を果たすべきか，協働的に考察・構想し，適切に表現している（p.65／Try） c：企業の社会的責任や法令順守の姿勢について主体的に追究して，企業の不祥事が相次いでいる現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・小テスト ・中間考査	・授業プリント	・授業中の態度 ・振り返りシート

6月		第2編1章5 国民所得 第2編1章6 経済成長と国民の福祉	a:。NIの生産・分配・支出のそれぞれの内容とともに，3つが理論的に同額になることを理解している。 b: 景気変動による私たちの生活と企業の成長への影響や，政府による景気安定化政策について多面的・多角的に考察し・構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 c: 経済成長による経済的な豊かさと幸福について，数値化することが困難な経済活動や生活の諸行動をどのように評価するべきかという観点から，主体的に考えを導きだそうとしている。	・小テスト ・中間考査	・授業プリント	・授業中の態度 ・振り返りシート
		第2編1章7 金融の役割 第2編1章8 日本銀行の役割	a: 金融は，信用創造等により，家計や企業からの資金を様々な経済主体に投資することで資本を増加させ，生産性を高め，社会を豊かに発展させる役割を担っていることを理解している。 b: 景気のそれぞれの局面に対処するため，日本銀行がどのような政策をとっているか，企業との関係も含めて多面的・多角的に考察，構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 c: 金融商品についての関心を高めており,リスクとリターンの関係などをよく理解したうえで，無理のない資金運用を心がけようとするなど，学習したことを社会生活に生かそうとしている。	・小テスト ・中間考査	・授業プリント	・授業中の態度 ・振り返りシート
		第2編1章9 財政の役割と租税 第2編1章10 日本の財政の課題	a: 財政に求められる機能について理解している。 b: p.78の図2を利用して，一般会計の歳入・歳出がどのように推移してきたかを適切に読み取ることができている。 c: 公平な税負担について，主体的に考えを導きだそうとしている。	・小テスト ・中間考査	・授業プリント	・授業中の態度 ・振り返りシート
	現在の日本経済と福祉の向上	第2編2章1 日本経済の成長と課題	a:戦後復興，高度経済成長，バブル経済の発生と崩壊などの背景や要因について理解している。 b: 2000年代以降，景気が拡大しても経済成長率が伸び悩んでいる理由について，多面的・多角的に考察している c: p.87の時事コラムを踏まえつつ，今後の日本経済がどのような豊かさを目指していくべきかについて主体的に追究して，よりよい社会の実現を視野に学習したことを社会生活に生かそうとしている。	・小テスト ・中間考査	・授業プリント	・授業中の態度 ・振り返りシート

		第2編2章2 中小企業と農業	a：p.88の図1～3から情報を適切に読み取り，中小企業と大企業の違いを理解している。 b：日本経済における中小企業の構造的な課題について，大企業との関係や国際化の観点から多面的・多角的に考察している。 c：食料安全保障について主体的に追究し，自給率向上などの日本農政の課題を意欲的に解決しようとしている。	・小テスト ・中間考査	・授業プリント	・授業中の態度 ・振り返りシート
		第2編2章3 消費者問題	a：典型的な消費者問題や悪質商法にはどのようなものがあるか理解している。 b：消費社会の拡大や過度な宣伝等について問いを見出し，消費者主権や消費者の権利の観点などから協働的に考察・構想し，それらを適切に表現している。 c：消費者の自立と自己責任について関心を深め，消費者の権利と責任に関する課題を意欲的に解決しようとしている。	・小テスト ・中間考査	・授業プリント	・授業中の態度 ・振り返りシート
		第2編2章4 公害防止と環境保全	a:。日本における公害の発生と原因を理解している。また，p.92の表2から必要な情報を適切に読み取っている。 b：環境保全と経済活動の両立について協働的に考察したうえで選択・判断し，それらを適切に表現している。 c：日本の公害問題と環境政策に関する理解のもとで，今後の環境問題の解決方法について主体的に追究して，課題を意欲的に解決しようとしている。	・小テスト ・中間考査	・授業プリント	・授業中の態度 ・振り返りシート
		第2編2章5 労働問題と労働者の権利 第2編2章6 こんにちの労働問題	a：労働基本権と労働三法の内容について理解している。 b：調べて整理したパリ協定にもとづく各国の二酸化炭素削減目標を踏まえながら，日本がその目標を達成・実現するための手段について協働的に考察し，適切に表現している（p.151／Try）。 c：地球温暖化や資源エネルギーをめぐる現状を理解したうえで，脱炭素社会の形成について興味関心をもち，「地球環境問題，資源エネルギー問題（p.158-159）」を探究するための意欲を高めている。	・小テスト ・中間考査	・授業プリント	・授業中の態度 ・振り返りシート

		第2編2章7 社会保障の役割と課題	a：社会保障制度は，どのように発展してきたのか。日本の社会保障制度のしくみと課題は何だろうか。 b：社会保障の考え方を知り，それらが歴史的にどのように制度化されてきたかについて理解している。 c：国際社会における貧困と格差の解消について主体的に追究し，JICA による支援活動などについても興味を持ち，それらの課題を意欲的に解決しようとしている	・小テスト ・中間考査	・授業プリント	・授業中の態度 ・振り返りシート
12月	日本経済のあゆみとこれから	第3編 現代日本における諸課題の探究	a：各課題に関連する知識（小学校および中学校で習得した概念などに関する知識や『公共』で身に付けた選択・判断の手掛かりとなる考え方，政治および経済の基本的な概念や理論など）を整理し，理解している。 b：社会的な見方・考え方を総合的に働かせ，各課題の解決策を多面的・多角的に考察，構想し，持続可能な社会の形成に向けた自身の考えを説明，論述している。 c：よりよい社会の実現のために，現代日本の諸課題を主体的に追究し，他者との協働もはかりながら，多面的・多角的な考察・構想を通して意欲的に課題を解決しようとしている。	・小テスト	・授業プリント	・授業中の態度 ・発表の様子 ・グループワークの様子 ・振り返りシート
		第1編 現代の国際政治 第2編 現代の国際経済	a：国際社会の変遷，人権，国家主権，領土（領海，領空を含む）などに関する国際法の意義，国際連合をはじめとする国際機構の役割，我が国の安全保障と防衛，国際貢献について，現実社会の諸事象を通して理解している。 b：国際社会の特質や国際紛争の諸要因を基に，国際法の果たす役割について多面的・多角的に考察し，表現している。 c：国際社会を担う一員として，現代の国際社会における諸課題に対する意識を強く持ち，課題にかかわる知識を主体的に深めたり，課題解決に向けた多面的・多角的な考察・構想を意欲的におこなったりしながら，現代社会における自身の役割を積極的に追究しようとしている。	・小テスト ・中間考査	・授業プリント	・授業中の態度 ・振り返りシート

		第１編１章１ 国際社会と国際法 第１編１章２ 国際社会の変化	a：主権国家と国際社会の成り立ちについて理解している。 b：国際政治や国際法はどのようなものなのか，国内政治や国内法との違いに着目してまとめるなど，適切に表現している。 c：NGO の取り組みについて主体的に追究し，環境保護や人権擁護に関する課題の解決を意欲的に検討している。	・小テスト ・中間考査	・授業プリント	・授業中の態度 ・振り返りシート
		第１編１章３ 国際連合と国際協力	a：国際連盟の成立と崩壊の歴史的経緯について理解している。 b：国際連合が抱えている課題について，採決や財政の観点などから協働的に考察し，それらを適切に表現している。 c：国際連合の専門機関が取り扱っている人権や社会，経済や環境問題に関する行動について主体的に追究し，国際的な課題を意欲的に解決しようとしている。	・小テスト ・中間考査	・授業プリント	・授業中の態度 ・振り返りシート
７ 月		第１編１章４ こんにちの国際政治	a:冷戦構造の概要について理解している。 b：冷戦終結後に地域・民族紛争が多発したことについて，その要因を多面的・多角的に考察している。 c：国際社会における法の支配について主体的に追究し，各国の国益を超えた問題解決に向けて意欲的に考察している。	・小テスト ・中間考査	・授業プリント	・授業中の態度 ・振り返りシート
		第１編１章５ 人種･民族問題	a：人種問題について，具体例（公民権運動，アパルトヘイト）を踏まえながら理解している。 b:紛争の背景を踏まえながら，その防止策や解決に向けた国際社会の取り組みについて協働的に考察・構想し，適切に表現している（p.129，p.131／Try）。 c：難民や国内避難民について主体的に追究し，いかにしてその支援等に寄与することができるかなど，意欲的に解決しようとしている。	・小テスト ・中間考査	・授業プリント	・授業中の態度 ・振り返りシート
		第１編１章６ 軍拡競争から軍縮へ	a：核抑止論の考え方について理解している。また，安全保障のジレンマのために軍縮が進めにくくなっている構造について理解している。 b：安全保障のジレンマを乗り越えて軍縮を進めていくためには何が必要となされ	・小テスト ・中間考査	・授業プリント	・授業中の態度 ・振り返りシート

			るか，協働的に考察・構想し，それらを適切に表現している。 c：核兵器禁止条約について主体的に追究し，賛成を表明した国と反対した国の主張を比較して，さらに多くの国が参加するためには何が必要なのか，意欲的に検討し解決しようとしている。			
		第１編１章７ 日本の外交と国際社会での役割	a：戦後の主権回復と国際社会への復帰について，その経過を理解している。 b：日本の領土問題について，平和的な解決のために必要なことを多面的に考察している。 c：国際貢献について主体的に追究し，政府レベルや企業レベル，市民レベルの観点から，課題を意欲的に解決しようとしている。	・小テスト ・中間考査	・授業プリント	・授業中の態度 ・振り返りシート
		第２編１章１ 貿易と国際収支 第２編１章２ 外国為替市場のしくみ	a：自由貿易のメリットを，比較生産費説をもとに理解している。 b：自由貿易が世界全体の発展に寄与するという仮説が適切かどうか，協働的に考察し，それを表現している。 c：自由貿易を推進するメリットと，近年先進国が保護貿易的な動きを見せていることについて主体的に追究し，望ましい貿易のあり方を意欲的に探究しようとしている。	・小テスト ・中間考査	・授業プリント	・授業中の態度 ・振り返りシート
		第２編２章１ 第二次世界大戦後の国際経済	a：IMF と GATT に代表される国際経済体制について，その概要を理解している。 b：ドーハラウンドにおける協議がなぜ停滞しているのか，多面的に考察している。 c：WTO が国際経済体制に果たす役割について主体的に追究し，ドーハラウンドが抱えている課題を意欲的に解決しようとしている。	・小テスト ・中間考査	・授業プリント	・授業中の態度 ・振り返りシート
		第２編２章２ 国際経済の動向 第２編２章３ 新興国の台頭	a：FTA や EPA がどのようなものであるのかを理解している。 ・EU を例として，どのように統合が深化していったかを理解している。 b：EU の統合について課題を見出し，各国の経済的格差の課題などについて協働的に考察し，適切に表現している。 c：EU の統合について主体的に追究し，そのなかで生じたイギリスの離脱に見られるように経済統合のひずみをどのように解消するかを意欲的に検討している。	・小テスト ・中間考査	・授業プリント	・授業中の態度 ・振り返りシート

		第2編2章4 経済のグローバル化とICTでかわる世界経済	a:グローバル化した世界において，多国籍企業の存在が大きくなっていることを理解している。 b: 共生の課題について，経済移民を労働力ではなく「生活人」として擁護するためにはどうすればよいか，協働的に考察・構想し，それらを適切に表現している。 c: 国際的な資本取引に対する金融規制について主体的に追究し，OECDにおける議論などを参考にしながら意欲的に解決しようとしている。	・小テスト ・中間考査	・授業プリント	・授業中の態度 ・振り返りシート
8月		第2編2章5 発展途上国の課題と展望	a: 南北問題について，その背景と現状について理解している。 ・資源産出国が自国の権益を保護しようとした歴史的な経過について理解している。 b: モノカルチャー経済に依存する経済上の問題について多面的・多角的に考察し，表現している。 c: よりよい社会の実現を視野に貧困を解消するための具体的な行動について積極的に考察し，社会生活に生かそうとしている。	・小テスト ・中間考査	・授業プリント	・授業中の態度 ・振り返りシート
		第2編2章6 地球環境問題，資源エネルギー問題	a: 化石燃料と再生可能エネルギーの特徴について，それぞれ理解している。 b: 調べて整理したパリ協定にもとづく各国の二酸化炭素削減目標を踏まえながら，日本がその目標を達成・実現するための手段について協働的に考察し，適切に表現している（p.151／Try）。 c: 地球温暖化や資源エネルギーをめぐる現状を理解したうえで，脱炭素社会の形成について興味関心をもち，「地球環境問題，資源エネルギー問題（p.158-159）」を探究するための意欲を高めている。	・小テスト ・中間考査	・授業プリント	・授業中の態度 ・振り返りシート
		第2編2章7 経済協力と日本の役割	a: 先進国による援助の中心としてODAがおこなわれてきたことを理解している。 b: 日本のODAの特徴と課題はどのようなものか，資金の用途や貸与方式などの観点から協働的に考察し，適切に表現している。 c: 国際社会における貧困と格差の解消について主体的に追究し，JICAによる支援活	・小テスト ・中間考査	・授業プリント	・授業中の態度 ・振り返りシート

			動などについても興味を持ち，それらの課題を意欲的に解決しようとしている。			
		第3編 国際社会における諸課題の探究	a：各課題に関連する知識（小学校および中学校で習得した概念などに関する知識や『公共』で身に付けた選択・判断の手掛かりとなる考え方，国際政治および国際経済の基本的な概念や理論など）を整理し，理解している。 ・各課題の解決に向けた考察・構想に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取る技能を身に付けている。 b：社会的な見方・考え方を総合的に働かせ，各課題の解決策を多面的・多角的に考察，構想し，持続可能な社会の形成に向けた自身の考えを説明，論述している。 c：よりよい社会の実現のために，国際社会の諸課題を主体的に追究し，他者との協働もはかりながら，多面的・多角的な考察・構想を通して意欲的に課題を解決しようとしている。	・小テスト ・中間考査	・授業プリント	・授業中の態度 ・発表の様子 ・グループワークの様子 ・振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度